



アジア情報室の蔵書評価

令和6年2月9日

関西館 アジア情報課 課長補佐

黒木 大志郎



本日の内容

1. アジア情報室の蔵書評価
2. アジア情報室の資料収集の状況と今後の対応

1. アジア情報室の蔵書評価



CiNiiBooksと当室の蔵書比較

当室とCiNii上位10機関のデータ件数（中国語）

順位	機関名	データ件数
	アジア情報室	23,798
1	京都大学	15,724
2	東京大学	13,446
3	東京都立中央図書館	11,511
4	佛教大学	9,737
5	大阪大学	8,696
6	東北大学	8,476
7	同志社大学	6,007
8	国際日本文化研究センター	5,806
9	関西大学	5,742
10	アジア経済研究所図書館	4,613

当室とCiNii上位10機関のデータ件数（朝鮮語）

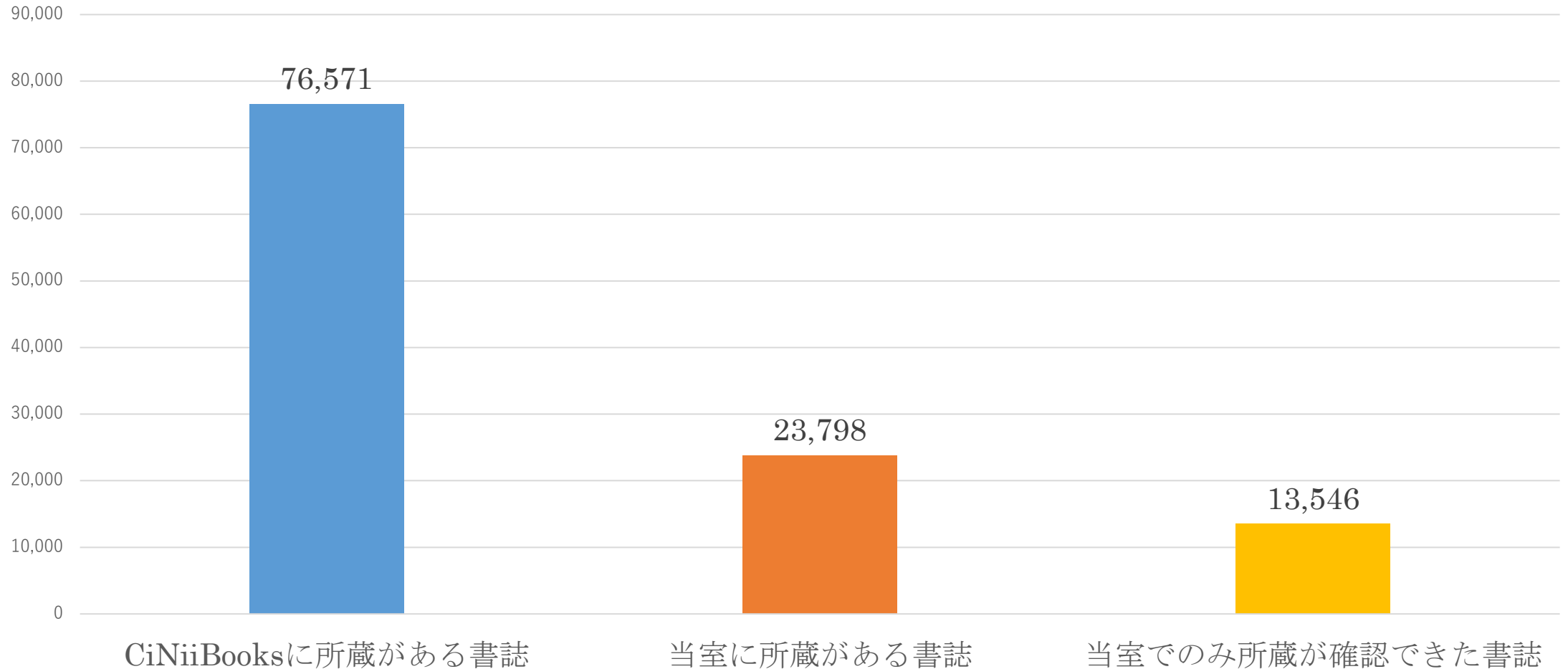
順位	機関名	データ件数
	アジア情報室	9,907
1	東京都立中央図書館	6,407
2	東京大学	5,041
3	アジア経済研究所図書館	2,861
4	九州大学	2,353
5	京都大学	1,988
6	国立歴史民俗博物館図書室	1,337
7	同志社大学	1,141
8	国際日本文化研究センター	1,064
9	学習院大学	1,006
10	奈良文化財研究所	859

（単位：件（ISBN単位）対象：2011年～2020年に出版され、かつISBNが書誌データにある資料）
 注意点

- ・機関Aの分館Bと分館Cが同一ISBNの資料を所蔵していた場合：データ件数を1件とカウントする
- ・機関Aの所蔵資料の書誌にISBNが複数ある場合（セットISBNと各巻ISBNが両方記載される等）：データ件数を複数件でカウントする

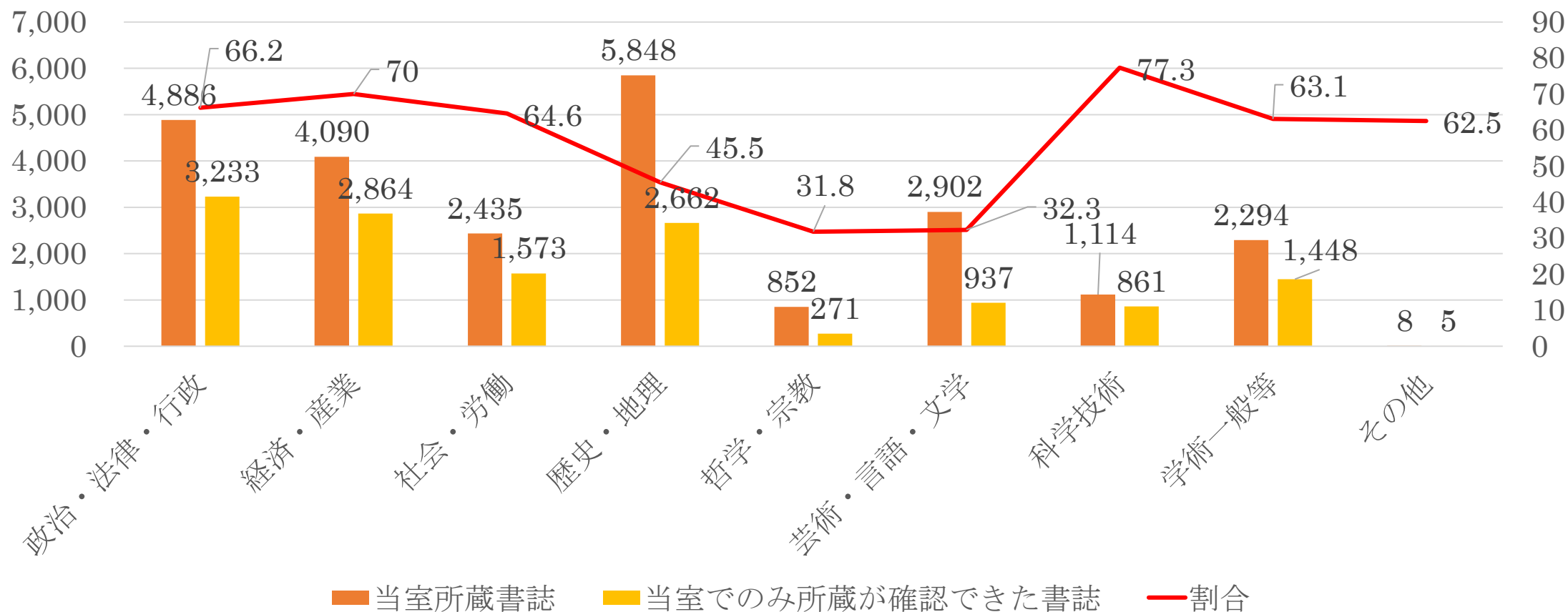
CiNiiBooksと当室の蔵書比較（中国語）

書誌に含まれるISBN数



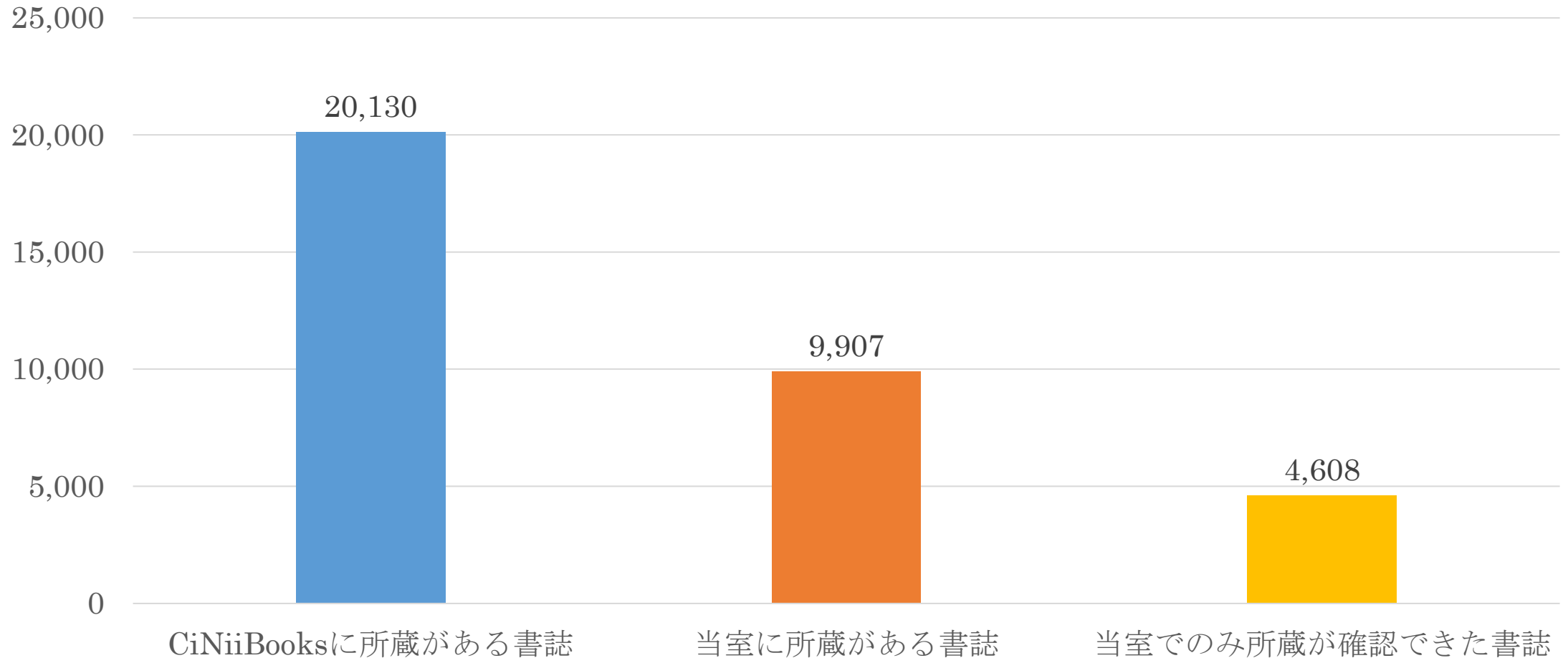
CiNiiBooksと当室の蔵書比較（中国語・分野別）

当室所蔵資料の分野別ISBN数



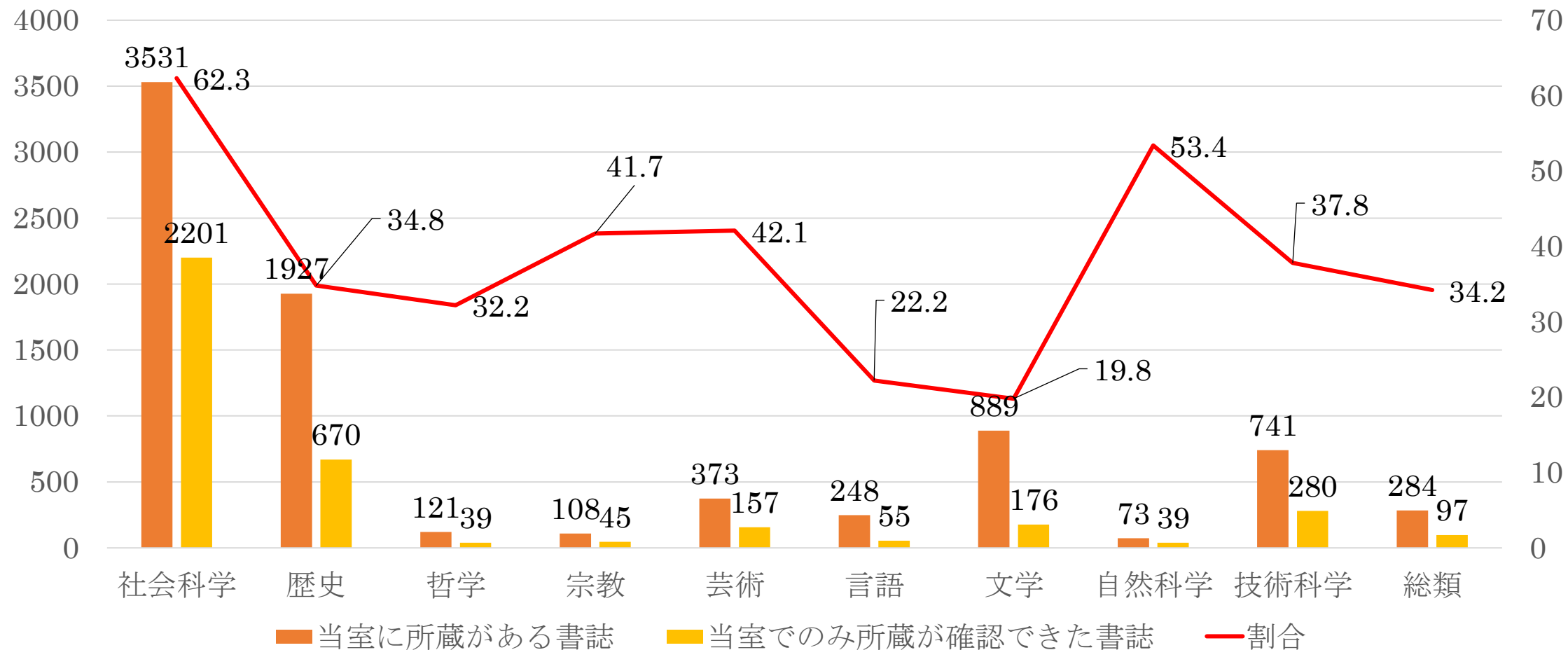
CiNiiBooksと当室の蔵書比較（朝鮮語）

書誌に含まれるISBN数



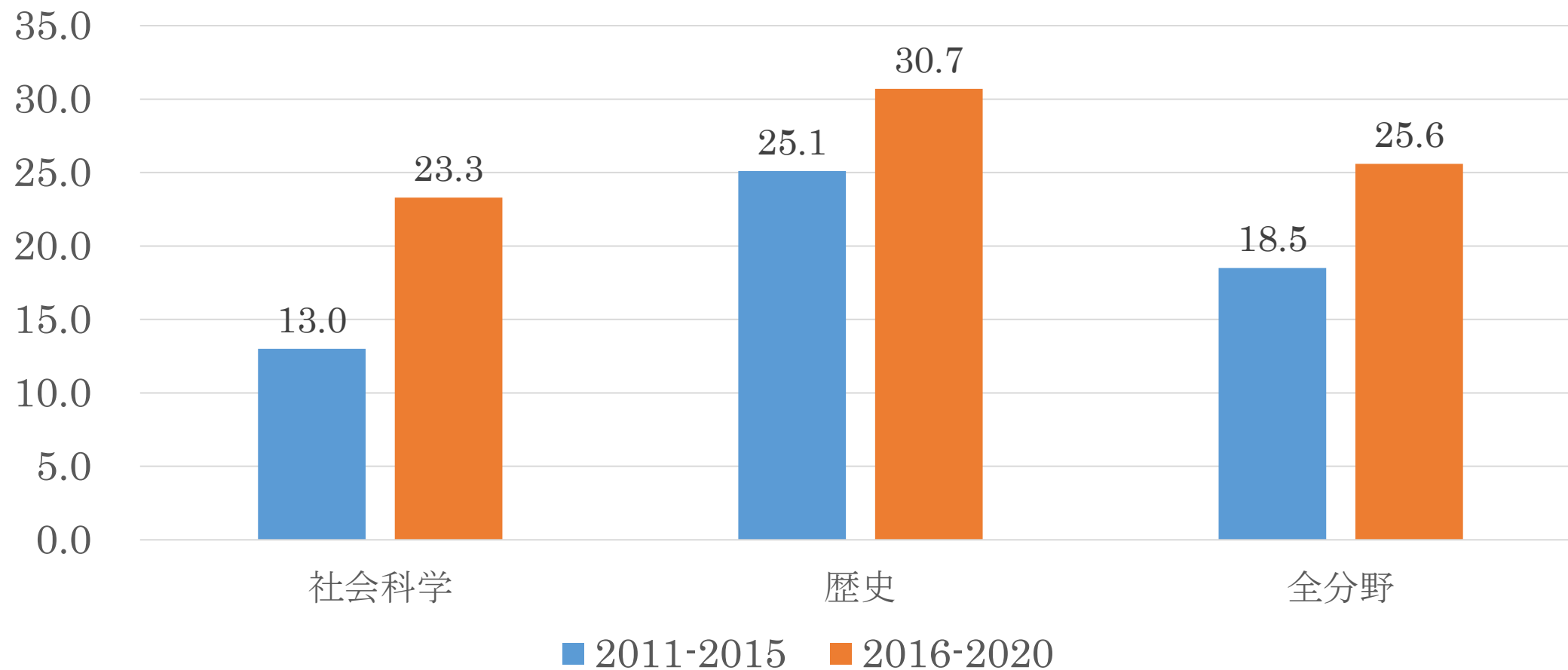
CiNiiBooksと当室の蔵書比較（朝鮮語・分野別）

当室所蔵資料の分野別ISBN数及び割合



CiNiiBooksと当室の蔵書比較（朝鮮語・重複率）

CiNiiBooksとの重複率の変化



アジア情報室資料の利用分析

資料種別利用数（括弧内は利用数に占める割合）

資料種別	2013年度	2018年度	2022年度
図書	3,711 (43%)	3,827 (39%)	4,026 (47%)
雑誌	2,502 (29%)	3,285 (34%)	2,329 (27%)
新聞	1,392 (16%)	1,205 (12%)	1,533 (18%)
全資料種別利用数	8,579	9,689	8,512

中国語資料の利用数

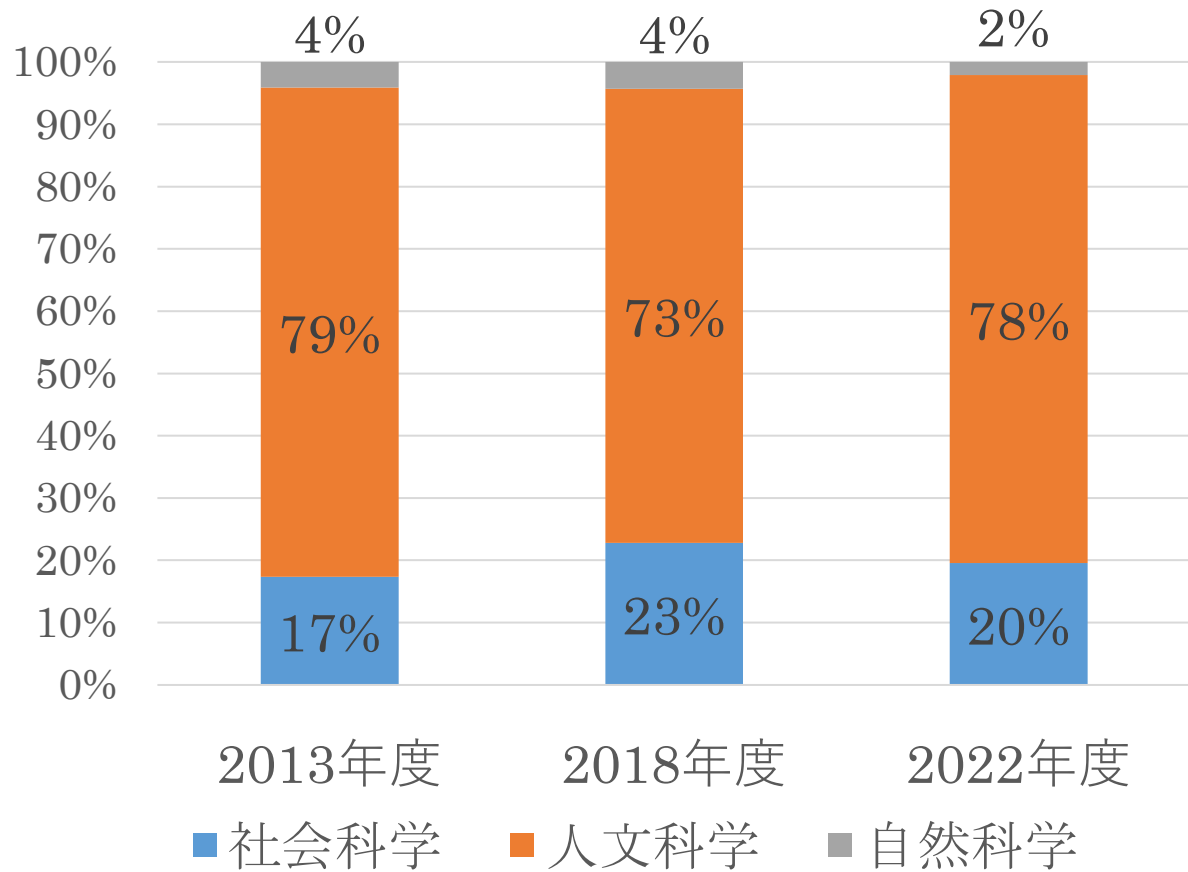
資料種別	2013年度	2018年度	2022年度
図書	2,695	2,445	2,710
雑誌	1,514	1,579	1,007
新聞	1,020	413	559

朝鮮語資料の利用数

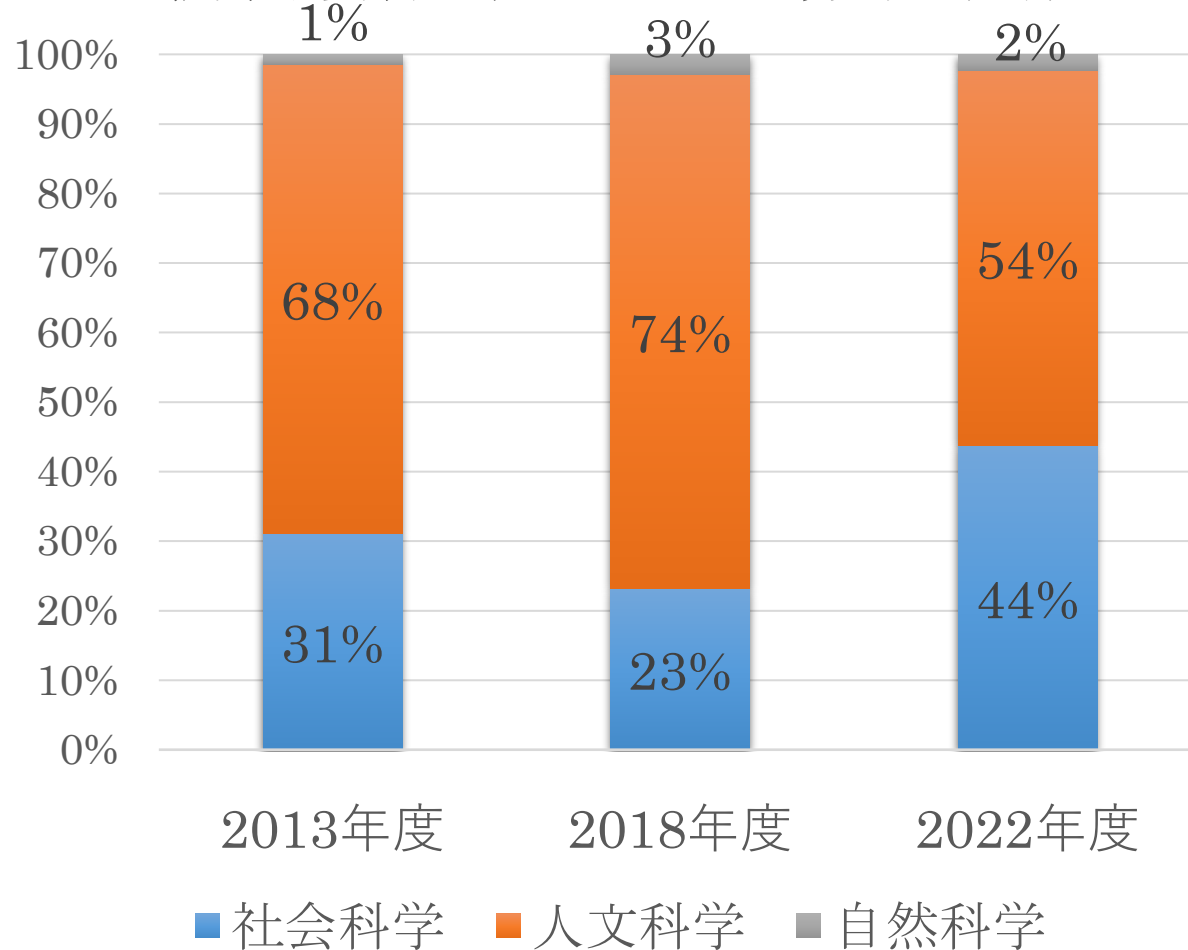
資料種別	2013年度	2018年度	2022年度
図書	357	685	603
雑誌	475	702	378
新聞	321	708	442

アジア情報室資料の利用分析 (中国語・朝鮮語の分野別利用割合の推移)

中国語資料の利用における分野別割合



朝鮮語資料の利用における分野別割合



アジア情報室資料の利用分析 (中国語資料の分野別利用)

2022年度各分野の書誌数及び1書誌あたりの利用数

分野	利用数	書誌数	1書誌あたり利用数
社会科学	530	26,630	0.019
人文科学	2,124	58,422	0.036
自然科学	56	5,065	0.011
合計	2,710	90,117	0.030

2022年度各分野の利用割合、書誌割合及び利用割合/書誌割合

分野	利用割合	書誌割合	利用割合/書誌割合
社会科学	20%	30%	0.66
人文科学	78%	65%	1.23
自然科学	2%	5%	0.4

アジア情報室資料の利用分析 (朝鮮語の分野別利用)

2022年度各分野の書誌数及び1書誌あたりの利用数

分野	利用数	書誌数	1書誌あたり利用数
社会科学	264	13,920	0.019
人文科学	325	20,577	0.016
自然科学	14	1,467	0.010
合計	603	35,964	0.017

2022年度各分野の利用割合、書誌割合及び利用割合/書誌割合

分野	利用割合	書誌割合	利用割合/書誌割合
社会科学	44%	39%	1.13
人文科学	54%	57%	0.95
自然科学	2%	4%	0.5

2. アジア情報室の資料収集の状況と今後



今後の傾向（単行）

- 社会科学分野を重点的に収集する方針に変更はない
- 収集する資料の内容については精査が必要
- 利用状況と収集資料の独自性との関係

今後の傾向（逐次刊行物）

逐次刊行物の問題点

新規タイトルの検討時期

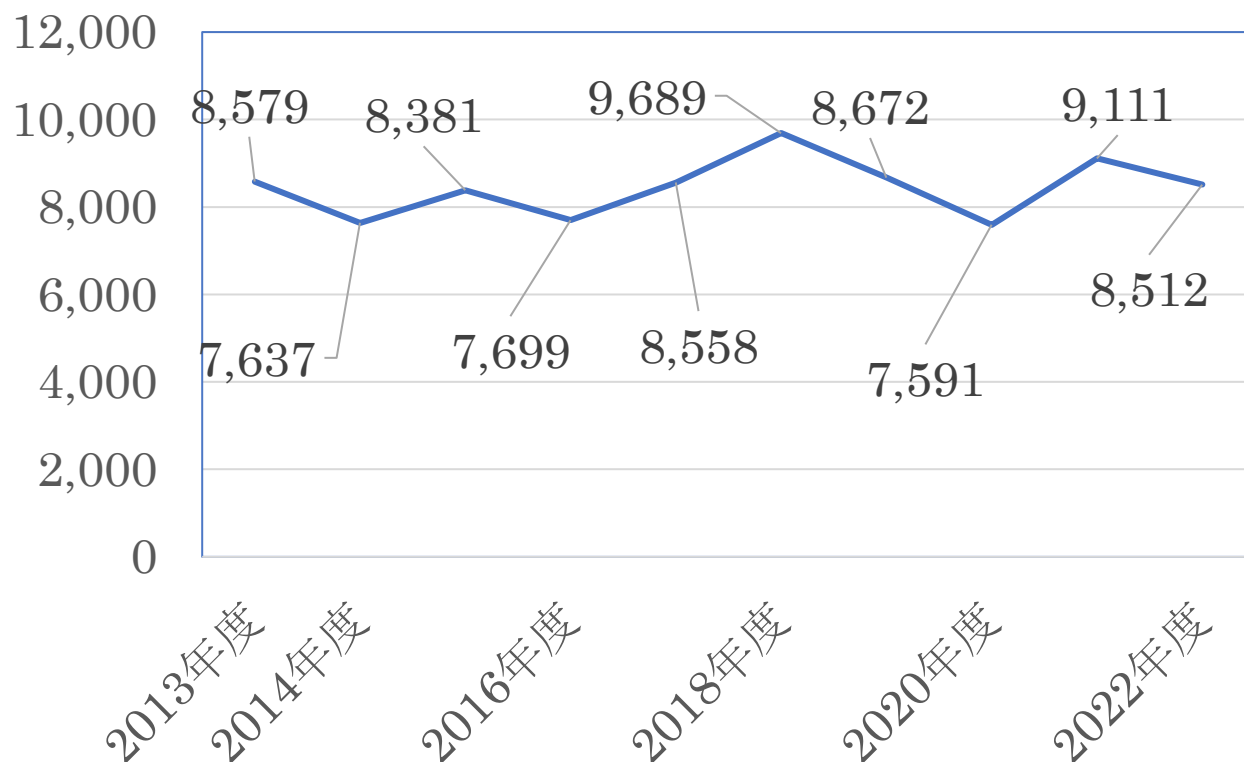
後年度負担の存在

単行書よりも絶版になるのが早い

調達時期の問題（前年10月に翌年刊行タイトルを調達）

今後の傾向（電子ジャーナル）

利用数の推移



DBのダウンロード数

DB名	2018年度	2022年度
CNKI	12,673	8,262
大成	導入年度	取得不可
KISS	602	1,018
Dbpia	導入年度	847
計	13,275	10,127